

祝辞

創立50周年によせて 貴会に期待すること



(公社) 日本包装技術協会
専務理事 越野 滋夫

技術士包装物流会創立50周年、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

私共1963年の日本包装技術協会発足を追いかけるように貴会の前身である「日本包装技術士会」が1967年に発足されました。当時は、「いざなぎ景気」のまっただなかで、我が国は著しい経済成長を遂げ国民生活も衣食住に豊かさを求める時代になっていました。当時は、日本包装技術協会主催の包装管理士講座開催の一年前あたり、「包装技術」の重要性が広く産業界に浸透していた時期でもありました。貴会は「包装技術」の専門家集団として、創立以来、包装・物流の近代化に大きな役割を果たして参りました。

1966年秋には、わが国の包装産業界の期待を担って第1回東京国際包装展が開催されましたが、その後の同展開催にあたっては、包装技術相談窓口として貴会メンバーの支援と協力は欠かせないものでした。時期を同じくして1967年には日本包装管理士会が発足しましたが、貴会は包装専門家集団としての指導や支援で、同会の活動に大きな影響を与えたものでした。

わが国の包装近代化に日本包装技術協会は人材教育を軸に展示会の開催や包装関連JISの制定等包装の様々な分野で貢献してきたつもりですが、貴会のメンバーの支援と協力なしにはなしえない事ばかりでした。この50年間の貴会の活動に敬意と感謝を表したいと存じます。

さて、「わが国の包装産業」はわが国の景気動向に大きく左右されますが、現在は、経済政策「アベノミクス」の各種の取り組みを通して、長年の経済的な停滞感やデフレ経済からの改善は「見られているものの、実感経済としては、

効果が目に見えないのも事実です。むしろ国内外を取り巻く経済や社会環境を考えると今後への不透明感が増すばかりです。

このような情勢の中で、包装産業は今までに構築してきた技術力や知見を活かして、さらなる高度化や多様化に適切に対応していく事が求められています。

こうした包装産業界の課題の中で、貴会の優れた技術力と経験がますます期待されております。どうか、貴会の活動が今後も近未来の包装・物流産業界への良き指針となることを願ってやみません。

設立50周年という節目に当たり、80余名の「包装・物流」の専門家集団として、さらなる魅力的な団体として活動される事を期待申し上げますと同時に、今後も一層、当日本包装技術協会との連携と交流を深め、互いに活力ある包装・物流産業の創出に邁進したいと希望いたします。

最後になりましたが、貴会の一層の飛躍と会員各位のご健勝、ご発展を心から祈念申し上げ祝辞と致します。